

鳥取港振興会 ニュース

港湾だより78号

(令和6年10月発行)



写真：海運セミナー（令和6年5月）

INDEX

- 令和6年度鳥取港振興会総会
- 海運セミナー
- R6.4.15クルーズ船「ル・ソレアル」寄港
- 鳥取港クリーンアップ作戦
- 2024賀露白いか祭り
- 鳥取港主要航路切替事業
- 令和6年度予算に係る事業
- 鳥取港港湾関連用地の分譲について
- R7.6.1クルーズ船「ル・ソレアル」寄港決定
- 大型クルーズ船を対象とした係留施設の整備
- ファーストポートの受入れ環境整備
- 鳥取港重要港湾指定50周年記念イベント

発行:鳥取港振興会

令和6年度鳥取港振興会総会

令和6年5月21日(火) 鳥取市内の白兔会館において会員55名のうち出席者11名(委任状40名)にご出席いただき、令和6年度鳥取港振興会総会を開催しました。

総会では深澤会長(鳥取市長)の議事進行のもと令和5年度事業報告・収支決算、令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について審議いただき、議案はいずれも原案のとおり承認されました。

報告事項では、鳥取港利用者懇談会の開催結果、鳥取港脱炭素化推進協議会(第2回)開催結果、鳥取港クルーズ客船入出港に係る航行安全調査の結果などを説明しました。



【鳥取港振興会役員】

役職	所属	氏名
会長	鳥取市長	深澤 義彦
副会長	鳥取商工会議所会頭	児嶋 祥悟
副会長	日本通運(株)山陰支店長	林 義弘
副会長	鳥取県県土整備部長	吉野 睦
理事	倉吉商工会議所会頭	河越 行夫
理事	三洋製紙(株)取締役社長	井川 智永
理事	鳥取県漁業協同組合代表理事組合長	景山 一夫
理事	鳥取市議会議長	西村紳一郎
理事	株式会社LIMNO	木村 裕一
理事	鳥取いなば農業協同組合代表理事組合長	清水 雄作
監事	日本興運(株)鳥取支店長	林 勝也
監事	岩美町長	長戸 清
専務理事	鳥取県県土整備部河川港湾局港湾課長	藤本 直幸
常務理事	鳥取市都市整備部長	山根 陽一

任期:令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年間)

令和6年度事業計画概要

(1) 貨物誘致活動

- 船社及び鳥取港の利用が期待される企業に対して鳥取港の利用を働きかける。
- 関係機関や団体と情報の共有化を図り、連携して鳥取港の利用拡大を図る。
- 航路誘致・ポートセールスに務め、定期コンテナ航路就航の可能性を探るセミナーや勉強会を開催する。

(2) クルーズ客船誘致活動

- 鳥取県が令和5年度に「鳥取港クルーズ客船入出港に係る航行安全調査」を行い、5万総トン級のクルーズ船が寄港できるようになる見込みであることから、従前より大型のクルーズ客船も積極的に誘致する。
- 受入地観光事業者や自治体等と連携し、乗船客のニーズに沿った観光メニューの造成に努める。

(3) 調査研究事業

- 港湾の機能や利便性向上、利用促進に向けた他港の取り組みなど、他の自治体や関係業界の情報収集に努める。

(4) 人的交流推進事業

- 鳥取港は令和7年度に重要港湾指定50周年の節目を迎える。鳥取県が令和7年度に実施予定の記念行事に協力し、鳥取港の賑わいづくりに繋げるイベントの事前準備に取り組む。

(5) 情報発信事業

- 鳥取港振興会ニュースの発行

海運セミナー

♪海運で開運♪～もうひとつの輸送手段～を開催

新たな海運利用者の掘り起こし及びもうひとつの輸送手段としての海運への理解を深めていただくことを目的として、荷主企業や物流事業者等を対象とした海運に関するセミナーを開催しました。

もうひとつの輸送手段として海運を活用すること（モーダルシフト）は、ドライバーの時間外労働が制限され、物流の停滞が懸念される2024年問題への対応策として、またCO₂排出量削減による環境負荷低減策としても、大変有効とされています。

セミナーには、県内外から52名が参加。国内寄港地63港、フィーダー輸送量国内トップの井本商運株式会社と、国土交通省中国地方整備局から講師を招き、海運の特徴と現状、2024年問題に対する国の施策、そして内航コンテナの現状とその可能性等について、講演いただきました。



開会挨拶する鳥取県地方港湾審議会 柏見会長



講演する井本商運株式会社 葛西氏

●開催結果

- (1) 日 時 令和6年5月21日(火) 午後2時30分から午後3時30分
- (2) 場 所 白兔会館 2階 らいちょうの間
- (3) 参加者 荷主企業（製造業、林業、商社、建設業）及び物流事業者20名、
経済団体1名、地元関係者5名、行政関係者26名 合計52名

●講演内容

「2024年内航コンテナ船という選択」

講演者：井本商運株式会社

営業部長 葛西 直樹（くずにし なおき）氏

内 容：北海道から九州まで、全国63港を寄港地とする内航コンテナ船のネットワークを駆使し、広範囲に国内輸送を展開している井本商運株式会社の内航コンテナ船の現状と、内航コンテナ船を利用した場合のメリットや将来性について

「海運（海上輸送）の特徴と2024年問題に対する国の施策について」

講演者：国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

室長 松浦 慎治（まつうら しんじ）氏

内 容：海運（海上輸送）の特徴（大量輸送、定時性、物流多様化によるリスク分散、CO₂排出削減等）と内航フィーダー船・フェリー・RORO船を活用した、貨物の国内トラック輸送の効率化（モーダルシフト）について

「鳥取港・境港のモーダルシフトについて」

講演者：国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所

所長 尾崎 靖（おざき やすし）氏

内 容：鳥取港及び境港の整備・利用状況、境港における国際フィーダー航路の伸び（モーダルシフト）の状況将来計画について

ポナン社クルーズ船「ル・ソレアル」が鳥取港に寄港しました！

令和6年4月15日(月)、フランスのポナン社が運航する「ル・ソレアル」が鳥取港に寄港しました。昨年4月17日(月)に続き、2年連続2回目の寄港となります。

鳥取港の寄港前には浦富沖に客船を停泊させ、ゾディアック(エンジン付ゴムボート)で浦富海岸遊覧船乗場及び網代漁港に上陸し、シーカヤックの体験、山陰松島遊覧船乗場で歓迎イベントを開催しました。

鳥取港からは、鳥取砂丘及び砂の美術館を訪問する現地ツアーを行った後、同日夕刻に釜山(韓国)に向けて出港しました。



知事、市長と船長等と記念撮影



浦富海岸へ上陸



麒麟獅子の紹介



しゃんしゃん傘踊りで出港のお見送り

鳥取港クリーンアップ作戦

6月26日(水)、「鳥取港クリーンアップ作戦」が実施されました。

これは、鳥取港内を清潔に保ち利用しやすい港湾としていくために、港の利用関係者自らが港湾環境美化活動に取り組むものとして毎年実施しています。鳥取港内で営業されている企業、港湾工事の関係企業、遊漁関係団体、釣具店など全部で36団体、187名の方々に参加していただき、約15ヘクタールの港湾エリアを約1時間にわたって手分けをして清掃活動を行いました。



2024「賀露白いか祭り」大盛況

7月20日(土)、21日(日)鳥取の夏を彩る「2024賀露白いか祭り」がマリニピア賀露で開催されました。昨年続き2日間開催され両日とも真夏日の熱いなか多くの白いかファンが来場されました。

鳥取港振興会は会場にPRブースを設けて、イベントのにぎわいづくりに協力しました。



鳥取港主要航路切替事業

鳥取港では、令和2年度の港湾計画改訂において、主航路を千代航路から西浜航路に切り替えることとし、事業を進めています。

千代川の河口付近に位置する千代航路周辺は、冬季風浪等により航路内に砂が堆積し大型船の航行に支障が生じていることから、毎年春先に千代航路の維持浚渫を実施し、航路水深の維持を図っている状況です。更に、近年では、台風や豪雨災害による航路埋塞、泊地閉塞が発生し、災害復旧のため緊急工事を実施している状況です。(令和5年度の災害復旧事業は完了。)

また、年間を通じて安全に荷役作業を行うための港内の静穏を確保することも課題となっています。

このため、航路等の埋塞を防ぐと同時に港内への波の侵入を防ぐ防波堤の延伸等の整備を行い、主航路を千代航路から西浜航路への切り替えに向けた事業を推進しています。



第1防波堤延伸(直轄事業) ケーソン製作状況

現就航船への対応



土砂流入対策

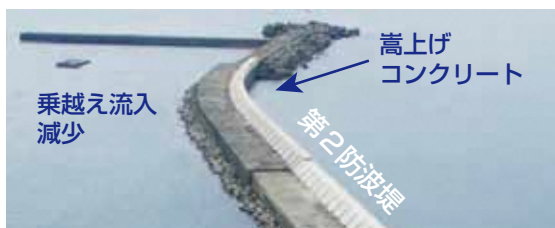


令和6年度予算に係る事業

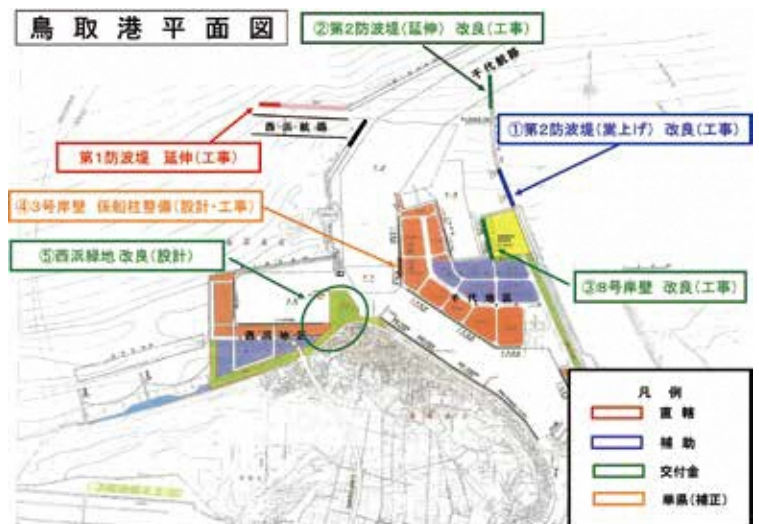
鳥取港では、主に以下の事業を実施しています。

- ① 港湾機能の強化として、港内への漂着物の入流を防ぐための「第2防波堤高上げ」
- ② 港内静穏度の確保及び航路・泊地の埋塞対策として「第2防波堤の延伸」
- ③ 海上物流の効率化のための「8号岸壁の増深」
- ④ 5万GT級クルーズ客船受入れのため「3号岸壁の係船柱増設」
- ⑤ みなとオアシスの拠点機能の強化として、「西浜緑地整備」

この他、定期的な港湾施設点検を行い、老朽化が進行する港湾施設の効率的・効果的な維持管理を行っています。



第2防波堤(高上げ)



鳥取港港湾関連用地の分譲について

現在、「鳥取市港町13番16の土地」について、令和6年度中に公募できるよう、準備を進めています。公募条件等は、今後、ホームページに掲載しますので、ご確認くださいませよう、お願いします。なお、残りの土地については、分譲に向けて準備を進めていきます。

問合せ先

鳥取県 県土整備部 港湾課 管理担当
電話：(0857)26-7348
メール：kouwan@pref.tottori.lg.jp



令和7年6月1日(日)に寄港決定!クルーズ客船「ル・ソリアル」

令和5年4月の初寄港に引き続き今回は3回目の寄港になります。

この機会にぜひ間近でクルーズ客船をご覧ください。

今後も新たなクルーズ客船の誘致を積極的に取り組んでまいります。



大型クルーズ船を対象とした係留施設の整備

これまでに鳥取港に寄港した最大のクルーズ客船は「ぱしふいっくびいなす」(船長183.4m 総トン数26,594t)です。これを上回る5万トンクラスのクルーズ客船の寄港を実現するため、令和5年度に実施した船舶航行安全検討によって必要と判断された係船柱を整備しています。対象のクルーズ客船の拡大を図り、より多くのクルーズ客船寄港を目指します。

ファーストポートの受入れ環境整備に取り組んでいます

鳥取港では、クルーズ船が海外から国内に最初に寄港する港(ファーストポート)に対応するため、関係機関と調整を行う等準備を進めています。ファーストポートの受入環境が整備されることにより、外国籍クルーズ船寄港の増加が期待されます。

鳥取港重要港湾指定50周年記念イベント

鳥取港は昭和50年に重要港湾の指定を受け、令和7年に50周年を迎えます。これを記念し、令和7年5月31日(土)から6月1日(日)にかけて、鳥取港を中心とした記念イベントを開催する予定です。クルーズ船「ル・ソリアル」や自衛隊船舶の鳥取港寄港、コンサートやキッチンカー販売、かろいちや鳥取砂丘コナ空港とコラボ等、様々な催しを計画しています。

鳥取港振興会事務局

〒680-8570
鳥取市東町1丁目220番地(県本庁舎5階)
TEL(0857)22-1836/FAX(0857)22-1848
E-mail : tottoriport@tea.ocn.ne.jp